

国土審議会第4回離島振興対策分科会概要

平成22年2月26日12時15分より、国土交通省（中央官庁合同庁舎3号館）特別会議室において、国土審議会第4回離島振興対策分科会が開催された（委員名簿別添）。

本日の議題は以下のとおり。

- (1) 離島振興の現状について
- (2) 広島県豊島・大崎下島及び愛媛県岡村島の指定解除について

審議に先立ち、岡本充功分科会長が挨拶され、事務局より各特別委員の紹介が行われた。

議題(1)については、離島振興の現状について事務局より説明し、その後議論が行われた。

議題(2)については、広島県豊島・大崎下島及び愛媛県岡村島の現地視察報告について阿比留勝利委員長代理より説明し、離島振興対象地域指定解除が了承された。

議事概要

- ①各委員からの主な意見は下記の通り。
 - ・離島では高齢化が進んでいる。原因は雇用、医療、教育である。
 - ・離島の公共事業予算の伸率が全国平均と同じでは、余りにも離島の事情を知らないのではないか。
 - ・離島の航路、航空路の問題は思い切った財政支援が必要ではないか。
 - ・公共事業だけではなく、離島の揮発油税の減免等新たな政策を考える必要がある。
 - ・261の離島の中で港は命そのものである。そういう予算を切る政策は良くない。
 - ・離島の近海で遭難事故が発生したが、島内に医療施設があったので措置ができた。しかし、病院経営は赤字である。国も力を貸していただきたい。
 - ・離島振興法が平成24年度末で改正されるが、本土と同じ条件で離島に住めるよう考えたい。また、市町村合併により一部離島が増え、島の意見が国に届きにくくなっている。
 - ・政治家主導でもっとやってほしい。
- ②広島県豊島・大崎下島及び愛媛県岡村島の指定解除について、本年4月1日付で解除することが適当である旨、国土交通大臣、総務大臣、農林水産大臣に意見を申し出ることとなった。

(速報のため、事後修正の可能性があります。)